

## $\beta$ -Nicotinamide mononucleotide

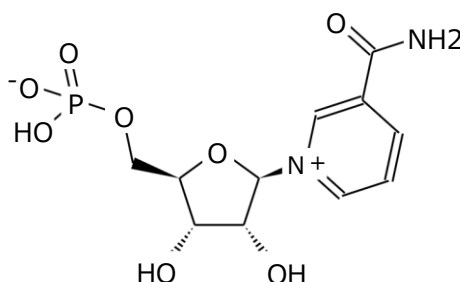
$\beta$ -NMN、 $\beta$ -Nicotinamide ribose monophosphate  
 $\beta$ -Nicotinamide ribotide

$\beta$ -Nicotinamide mononucleotideは補酵素「NAD+」の生合成中間代謝産物です。近年、 $\beta$ -NAD+代謝経路と老化関連疾患の関わりが注目されています。

本製品は高度に精製された $\beta$ -Nicotinamide mononucleotideです。

\*本製品は研究用試薬であり、医薬品ならびに個人消費向けではございません。

### 構造式



化学式 :  $C_{11}H_{15}N_2O_8P$

分子量 : 334.22

製品名	製品番号	サイズ	価格(税込)
$\beta$ -NMN	44501000	1 g	¥55,000

\*バルク注文については営業部、販売会社またはホームページからお問い合わせ下さい。

### 製品仕様

用途:	研究用試薬
製品形態:	粉末
保存条件:	-20℃以下
純度:	≥95% (HPLC)
265nmでの分子吸光係数:	4,200±200 L·mole <sup>-1</sup> ·cm <sup>-1</sup>
水分:	<8%

## 本製品 ( $\beta$ -NMN)の使用実績

### 【弊社特許】

■ **免疫機能向上** 特許登録済

動物:C57BL/6Nマウス(22週齢、メス)

方法:

・ $\beta$ -NMN投与群: $\beta$ -NMN(625 mg/kg/day)

・コントロール群:PBS

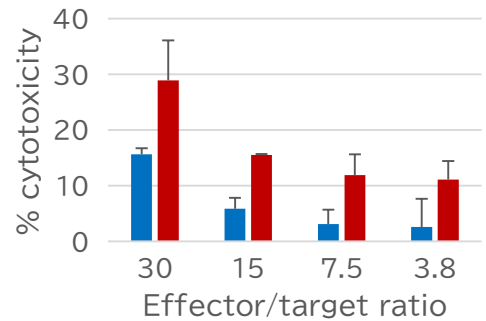
をそれぞれ8日間腹腔内投与し、  
肝臓を採取してNK細胞活性を測定した。

結果:

$\beta$ -NMN投与群でNK細胞活性の増加が認められた。

→ $\beta$ -NMNにNK細胞活性の増強効果があることが示された。

NK細胞活性(%) [Liver]



■ コントロール群  
■  $\beta$ -NMN投与群

## 参考文献

### 【NMN関連文献】

1. Yoshino J. *et al.*, *Cell Metab.* 14 (4), 528-36. (2011)
2. Ramsey KM *et al.*, *Aging Cell.* 7 (1), 78-88. (2008)
3. Revollo JR *et al.*, *Cell Metab.* 6 (5), 363-75. (2007)

### 【本製品使用論文】

1. Mills KF *et al.*, *Cell Metab.*, 2016.
2. Kawamura T *et al.*, *J Nutr Sci Vitaminol.*, 2016.
3. Irie J *et al.*, *Endocr J.*, 2020.
4. Ito S *et al.*, *PharmaNutrition.*, 2020.
5. Yamaura K *et al.*, *Research square.*, 2020.
6. Yamashita D *et al.*, *bioRxiv.*, 2020.
7. Yoshino M *et al.*, *Science.*, 2021.

## お客様窓口

お問い合わせやご注文は下記からお願いいたします。

Webサイト: <https://www.oyc.co.jp/bio/>

製品に関するお問い合わせ: バイオ事業本部  
Tel 03-3968-1192  
Fax 03-3968-4863

Webサイトは  
こちらから!



## 営業部及び販売会社

東日本バイオ営業部 Tel 03-3968-1163  
東日本バイオ営業部 札幌支所 Tel 011-261-6591  
東日本バイオ営業部 つくば支所 Tel 029-858-0115  
西日本バイオ営業部 Tel 06-6338-1095  
(株)オリエンタルバイオサービス Tel 075-322-1177  
(株)ケービーティーオリエンタル Tel 0942-81-2400

Fax 03-3968-1196  
Fax 011-222-0755  
Fax 029-858-2931  
Fax 06-6384-7692  
Fax 075-322-0232  
Fax 0942-81-2401

